

9. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連  (中国)		スーパー（店長）	・野菜の価格相場が落ち着き、気温も暖かくなることから行楽需要が見込める。今回の相場高の影響から安さへの客の反応は早く、買物もしやすい環境になる。
		乗用車販売店（店長）	・来月は決算で新年度を迎えるが、サービス入庫が非常に多く、様々な相乗効果が期待できる。
		テーマパーク（業務担当）	・大型連休や春のイベントが始まるので、来客数の増加が見込める。
		一般小売店〔靴〕（経営者）	・人件費や原材料の値上げを商品代金に反映しているが、客の反応に変化はない。
		スーパー（店長）	・天候が徐々に回復して来客数は前年並みに推移しており、3月以降は徐々に増加していく。
		スーパー（店長）	・気温が上がリ、外出が増えるので行楽などの需要が高まる。
		スーパー（販売担当）	・パレンタイム商戦や新生活商戦で前年より客単価が上昇している。また、家具家電商品は、価格が上がっても品質や機能の良い物を選ぶ客が増える。
		スーパー（販売担当）	・卒入学シーズン、春休みに入るので来客数が増加して売上も伸びる。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数の増加傾向は続く。
		家電量販店（販売担当）	・新生活時期や決算期となるため景気がやや上向く。
		乗用車販売店（総務担当）	・新型車の発売はしばらく先になるが、予約販売等で活気付く。
		その他専門店〔土産物〕（店長）	・今年は気温の影響で道の駅で所有している畑に1,000万本の菜の花が咲く時期と春休みが重なるので、多くの観光客とともに商品の動きもかなり見込める。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（所長）	・4月下旬の改装オープンに向けて準備を進めており、景気が良くなる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	・新生活へ向け、客の購買意欲が高まる。
		一般レストラン（経営者）	・暖かくなれば人の動きは良くなる。
		一般レストラン（外食事業担当）	・卒業、入学、転勤、転居など、人の動きが活発になるとともに、前年から商圏内の物販と飲食の集積密度が高まっているので、競争は厳しいが集客には期待できる。開花時期も遅れているので、例年より行楽シーズンが長くなれば、寒波の影響があった今年より来客数が増加する。
		観光型ホテル（営業担当）	・景気が良くなる要素が見当たらず、引き続き需要と供給のバランスが取れない。
		都市型ホテル（企画担当）	・桜のシーズンを契機にインパウンドニーズが高まるとともに、近隣駅内の新たな商業施設オープンに伴ってエリア内に人が集まる。
		都市型ホテル（総支配人）	・祭りなどのイベントや国内航空会社の新規路線開設で集客が見込まれる。
		旅行代理店（経営者）	・来月以降は天候が回復し、旅行業の景気は良くなる。
	タクシー運転手	・3月は気温も上昇し異動の時期ともなるため客の動きが良くなる。客の消費行動は引き続き控えめであるが、景気は良くなる。	
	通信会社（社員）	・異動で人の動きが活発になる。	
	通信会社（総務担当）	・通信業界は卒業、入学、人事異動等の時期に多忙となるので景気も少し良くなる。	
	通信会社（総務担当）	・例年、3月後半になれば契約数は増加する。	
	テーマパーク（営業担当）	・暖かくなり、春の行楽シーズンに向けて観光客の動きも活発になってくる。	
	競艇場（職員）	・5月中旬のG1競争の売上が見込める。	
	設計事務所（経営者）	・客の購入意識は高いが消費スタイルは慎重なので数字が大きく伸びることはない。	
	住宅販売会社（従業員）	・来年3月の消費税の引上げに伴う駆け込み需要までは緩やかな上昇傾向が続く。	
	住宅販売会社（営業所長）	・異動シーズンとなるため土地を持たない客が住宅確保に動き出す。	
	商店街（理事）	・景気が良くなる要素はない。	
	商店街（代表者）	・既存店舗が撤退しても新規出店予定者があるため店舗数に変化はないが、現状より良くなる様子がない。	

商店街（代表者）	・客は日用品や食料品は地元スーパーで購入するが、高額品はインターネットで購入することが増えているため、観光客が増加する時期となってもその影響も限定的である。
商店街（代表者）	・春の賃上げ等により若干景気は良くなる可能性があるが、それほど期待はできない。
商店街（代表者）	・ほとんどの客は必要なものしか購入しないが、もう1品追加で購入していく客が出始める。
一般小売店〔茶〕（経営者）	・国内売上を維持するのは難しいので、新しい展開を真剣に考えて営業していく。
一般小売店〔食品〕（経営者）	・食品小売でのデフレ基調は変わらず、客の購買意欲は低いまま推移する。
百貨店（経理担当）	・企業の賃上げが進まなければ景気回復は難しい。
百貨店（営業担当）	・婦人服の売上が劇的に伸びたり、インバウンドで数字が取れる確証もなく、かさ上げ対策を行いながら数字を取っていくしかない。
百貨店（販売促進担当）	・長期予報では3月以降暖かい気温で推移することから、遅れている春物衣料への需要が高まる。一方で美術宝飾の高額品は新規客の開拓がなければ大きな動きは期待できず、全体的な景気高揚までには時間が掛かる。
百貨店（売場担当）	・衣料品だけでなく、バレンタイン商戦や物産展で高額商品に対する客の買い控えの傾向が現れているため、購買意欲が上向くまでには至らない。
百貨店（売場担当）	・平昌オリンピックの影響で減少した来客数が気温の上昇とともに回復してくるが、改善するまではいかない。
百貨店（購買担当）	・今年は天候の影響で春物商材の動きが悪いが、スプリングコートなどアウター物は客の目を引いている。コーディネートでの購入は厳しく、紳士服、婦人服、子供服共に苦戦しており、客の財布のひもは固いまま推移する。
スーパー（店長）	・景気が良くなる材料、悪くなる材料は見当たらない。
スーパー（店長）	・客の消費動向が変わる要素が見当たらず、今後も現在と同様の傾向が続く。
スーパー（総務担当）	・生鮮商品の価格が安定してきたが、客の購買意欲の向上にはつながらない。
スーパー（財務担当）	・買い回りによる購入点数と来客数の前年割れが続く。
スーパー（管理担当）	・売上増加が見込めない状況に変化はなく、利益確保に重点を置いてロス削減とコスト削減に努めていく。
スーパー（営業システム担当）	・春から小麦粉等の食品関連の値段が上昇し、客の節約志向は続いているのでまとめ買いをする需要もない。
コンビニ（副地域ブロック長）	・競合店の進出など、置かれている環境は変わらないので、来客数の回復は見込めない。
コンビニ（支店長）	・不安定な株価などの影響で景気が回復する様子はない。
衣料品専門店（経営者）	・景気が良くなる要素がない。
衣料品専門店（店長）	・当店の売上は非常に安定しているが、域内主要2市の系列店全体でみると前年より大幅に悪い状況が続く。
家電量販店（店長）	・客の財布のひもは固いままである。
家電量販店（店長）	・来客数増加のための施策を講じることにしている。
家電量販店（店長）	・景気が良くなる要素がなく、業界全体が縮小傾向となる。
家電量販店（企画担当）	・景気を左右する要因はない。
乗用車販売店（営業担当）	・決算時期なので来客数と販売台数は伸びているが、出費を抑えたい客が多く、景気の上向き感はまだない。
乗用車販売店（統括）	・メーカーの出荷問題で販売量が落ち込む。
その他専門店〔時計〕（経営者）	・積極型購買層と節約型購買層が存在し、景気が上向いてもこの経済格差は縮まらない。
その他専門店〔和菓子〕（経営者）	・来客数の増加は望めない。
高級レストラン（宴会サービス担当）	・予約状況は前年並みに推移する。
一般レストラン（経営者）	・域内での給料の全体的な伸びが少ないため、先行きの景気に変動はない。
一般レストラン（店長）	・予約の状況は悪くないが、駅方面の開発により商圏が移動する懸念がある。大きく売上が減少することはないが、増加する状況でもない。
スナック（経営者）	・当業界の景気が良くなる兆しは全くない。
その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（店長）	・交通量が減少するため来客数が増加しない。
都市型ホテル（スタッフ）	・歓送迎会の時期なので現状が続く。

	都市型ホテル（企画担当）	・春先の団体宿泊客の先行予約は前年並みに推移し、大型学会等の宴会予約を受注しているが、一般企業の予約は伸び悩んでいる。婚礼など個人イベントの先行予約も芳しくない状況である。
	旅行代理店（営業担当）	・次年度の税制改革や消費に直結する施策が展開されれば景気は上向きに転じる。
	タクシー運転手	・運転手が増加する予定はないので、現状が続く。
	通信会社（販売企画担当）	・景気が改善する要素がない。
	通信会社（企画担当）	・新年度になれば新サービスを展開するが、今回は価格訴求的な観点での展開であるため多く期待できないものの、サービスの切替えと新サービスへの加入を底堅く進めていくため、マイナス要素はない。
	通信会社（工事担当）	・客からの話では景気に変化が見込めない。
	テーマパーク（管理担当）	・消費税を上げて以降、地方での消費が伸びず個人消費にも活気がない状況が継続しており、今後も変化はない。
	ゴルフ場（営業担当）	・気温が上昇すれば来客数は増加し、予約は例年どおり回復する。
	美容室（経営者）	・景気に大きな変化はない。
	美容室（経営者）	・客の節約志向は続く。
	美容室（経営者）	・すぐに現状が良くなることはない。
	設計事務所（経営者）	・景気が大きく変わる要素はなく、地方経済は崩壊の一途である。
	設計事務所（経営者）	・間もなく新年度を迎えるが、特別な景気対策もなく、建築を取り巻く環境に変化はない。
	設計事務所（経営者）	・建築コストが上昇しており、工事も金をかけない傾向で、全体の工事数も減少気味になる。
	住宅販売会社（営業担当）	・2～3か月では成約件数や売上の増加までは至らない。
	一般小売店〔印章〕（経営者）	・インターネット販売に加えて、今まで卸小売を大切にしていたメーカーが大口の会社や個人を直接相手にするケースが増えてきており、なりふり構わない販売戦略を展開しているため小売店はより厳しい状況となる。
	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	・石油価格の上昇や株安などが続き経済の先行きに不安が残る。
	百貨店（広報担当）	・5月の大型連休に郊外で競合店が開業するため、レジャーシーズンの大型集客の動きに影響が出る。
	百貨店（営業担当）	・株価の急落で客の購買意欲は低下する。
	百貨店（外商担当）	・町の状況や店の環境等に回復の材料は乏しく、今後も売上は漸減していく。
	衣料品専門店（経営者）	・地方は経済状態が悪く、客の財布のひもは固いまま推移する。
	乗用車販売店（営業担当）	・例年3月から売上が低下し始め、4～5月は景気が悪くなる。
	乗用車販売店（営業担当）	・例年4～5月にはイベントをやっても客の反応が鈍く、今年も来客数は増加しない。
	通信会社（営業担当）	・販売量が急速に悪化しており、原因も不明のため回復する見込みが立たない。
	住宅販売会社（営業担当）	・年度始めは客が多忙になり、住宅等の取引等は増えない。
×	商店街（代表者）	・オーバーストア、少子化、インターネット販売に苦しみられており、客は必要な商品をタイムリーにより安く購入する姿勢が鮮明になっているため、店の存続も危うい。
×	スーパー（店長）	・競合店の影響で来客数の増加は見込めない。
×	コンビニ（エリア担当）	・競合店の影響で数か月間は売上減少が続く。前年に比べてネットなどで使うカードの販売量が低下しており、しばらくは売上の回復が見込めない。
×	乗用車販売店（業務担当）	・年間最大の増販期である2月にもかかわらず、販売量が伸び悩んでおり、2～3か月先に期待が持てない。
×	自動車備品販売店（経営者）	・景気が良くなる要素は何もない。
×	住関連専門店（営業担当）	・平日、週末共に来客数は減少しており、情報も収集できないので先行きの売上の見込みは立たず、景気が上向き材料もない。
×	通信会社（広報担当）	・全国の支店と比較しても、料金水準を最も下げてもまだ売れないほど、当地方は景気が悪い状態が続く。
企業動向関連	輸送用機械器具製造業（経営者）	・自動車産業が好調で当社の業績も良く、新車も立ち上がる予定なので好景気になる。
	繊維工業（監査担当）	・来月から最盛期を迎えるが、ここまでの売上状況が前年比増で推移しているため、この状況が継続する。

(中国)		化学工業（経営者）	・円高による輸出向けの落ち込みが懸念されるが、苛性ソーダの大幅値上げも浸透して主要取引先のフル稼働も継続する。
		化学工業（総務担当）	・化学業界は好景気で、今後2～3か月もこの状況が続く。
		非鉄金属製造業（業務担当）	・電子部品関係の在庫調整は新年度に入れば一段落し、旺盛な受注が復活する。
		金属製品製造業（総務担当）	・同業他社が納期対応できない影響で得意先からの引き合いは増加している。原材料価格が4月以降上昇する見込みであるが、製品価格への転嫁や増産によってカバーしていく。
		建設業（総務担当）	・手元受注量が好調に推移している。
		輸送業（支店長）	・各業種とも人手不足に苦勞しており、当社も賃金を見直して募集をかけていく。
		輸送業（経理担当）	・雇用情勢が安定してくれば景気は好転するが、人員の定着も課題になってくる。
		通信業（営業企画担当）	・モノのインターネット、セキュリティ、アウトソーシング等の新しい商材に対して、企業が予算化し提案依頼してくることが見込まれる。
		不動産業（総務担当）	・賃貸物件の需要時期なので、来客数と成約件数が増える。
		広告代理店（営業担当）	・新年度に入って販売促進を講ずる時期となるため、受注量と販売量が上向きに転ずる。
		農林水産業（従業員）	・景気が変わる要素が見当たらない。
		食料品製造業（総務担当）	・商品が全国的にメディアで取り上げられているので売上は維持できる。スーパーや百貨店でもギフト商品としてよりも個々の品として買い求められているので、値上げはしたものの、それなりの評価が得られる状況が続く。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・外国製品から国産品へのシフトは当面続き、多忙な状況が継続する。
		鉄鋼業（総務担当）	・受注状況が高い水準で推移しており、今後も同様の水準で推移する。
		鉄鋼業（総務担当）	・鋼材供給がひっ迫した状況が当面継続する見通しであり、堅調な需要にも変化の兆しがないことから現状のまま推移する。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きに変化はない。
		輸送用機械器具製造業（財務担当）	・そこそこの仕事量は確保しているものの、採算性は良くない状況が続く。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	・受注内示量は若干の減少ではあるが、高い操業度を維持する。
		輸送業（総務担当）	・現状から変化する様子はない。
		通信業（営業担当）	・政府の景気へのテコ入れはなく、市場の活性化もないので穏やかな状況が続く。
		金融業（貸付担当）	・新車販売台数は前年比マイナスの状況が継続する。
		金融業（融資企画担当）	・為替が円高傾向で輸出への影響が懸念されるが、地元自動車メーカーの新型スポーツ用多目的車の販売好調はしばらく続き、系列の地元自動車部品メーカーの受注と生産も高水準を維持する。
		会計事務所（職員）	・大手企業だけでなく中小企業も今年度の業績は好調であり、賃金の上昇を就労者が肌で感じる事ができれば今後も景気は安定して推移するが、東アジア情勢など外的要因での不安要素もあるので先行きは不透明である。
	食料品製造業（経営者）	・季節により売上は大きく変動するが、今後は春物と夏物の売上を安定させ、前年から続く厳しい状況をいかに乗り切ることが課題となる。	
	木材木製品製造業（経理担当）	・新設住宅着工戸数の減少と所得の伸び悩みが続き、消費税の引上げが明確になれば駆け込み需要の可能性も出てくる。	
	一般機械器具製造業（管理担当）	・為替相場や株価が変動し景気が悪化する。	
	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	・消費の冷え込みが厳しく受注状況が思わしくない状況が続く。	
	x	建設業（総務担当）	・大型物件の受注が多いが、納期の遅延が継続するとともに、契約後も資機材価格の上昇が継続する状況にあるため、それが利益にマイナスの影響を及ぼす局面に入ってくる。
雇用関連		-	-
(中国)		人材派遣会社（社員）	・季節要因以外でも引き続き求人は増えるので求職者とのマッチングが課題になる。
		人材派遣会社（支店長）	・4月の賃上げに期待が持てる。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・3～4月は求職者が最も活発に動く時期となり、それを見越した求人もますます増加する。製造物流、医療福祉、飲食サービスなど幅広い分野の求人が増え、例年どおりの傾向となる。

	新聞社 [ 求人広告 ] ( 担当者 )	・消費活動、生産活動共に活発で、しばらくはこの需要と供給の関係は維持できる。ただし、人材の確保ができない状態が継続すれば企業活動にも悪影響が出て、長期的には景気に不透明感が出てくる。
	職業安定所 ( 雇用開発担当 )	・今月の雇用状況は前月と変わらないものの、増員求人の方が増しているため、景気はやや良くなっていく。
	民間職業紹介機関 ( 職員 )	・プロ野球熱と地元プロサッカーチームのJ1残留に加え、平昌オリンピックの影響でレジャーを兼ねた冬のスポーツも盛んであることから、先行きの消費が活発化する。
	人材派遣会社 ( 支社長 )	・地元自動車メーカーが国内生産を増加していることから自動車関連産業は好調を維持し、建設は駅再開を始めたニーズが当面は堅調に推移する。一方、小売は有効求人倍率13倍と採用に大苦戦、金融はマイナス金利の影響で収益が減少、電力などインフラ関連も小売自由化で減収が続くなど、業績回復が見込まれる業界はまだ限られる。全体の求人倍率が2倍で高止まりし、生産活動の源泉である人材確保はどこも苦戦が続く。
	人材派遣会社 ( 経営企画担当 )	・有効求人倍率は引き続き高水準を維持することが見込まれる。
	求人情報誌製作会社 ( 営業担当 )	・景気が浮揚する大きな要素が見当たらない。
	求人情報誌製作会社 ( 広告担当 )	・大学3年生が就職先として志望する業界は、前年同様に理系1位がメーカー、文系1位が金融・証券・保険である。取引先の採用者数と採用予算はほぼ横ばいであるが、高専生の採用を積極的に進める企業が増えてくる。
	職業安定所 ( 所長 )	・求職者の減少傾向から人手不足感が一層強まっていることを背景に、少しでも応募者を増やすため業種を問わず契約社員から正社員に切り替えて募集するケースが増える。
	職業安定所 ( 産業雇用情報担当 )	・3か月前より有効求人数は14%増加しているが、小規模事業所で店舗閉鎖が増えており、景気が上向いてくるとはいえない。
	民間職業紹介機関 ( 人材紹介担当 )	・人手不足解消が鍵となるので、外国人技能実習や働き方改革などの取組をしているが、全体的なつながりがないので難しさが残る。
	学校 [ 短期大学 ] ( 進路指導担当 )	・前年同時期と比較して、新卒求人の受付状況に変化はない。
	学校 [ 大学 ] ( 就職支援担当 )	・求人数は堅調であるが、現時点で大幅な増加や減少に転じることはない。
	-	-
x	-	-